

他市町村との比較(地域支え愛ポイント制度)

都道府県	市町村	担当部署	人口	ボランティア参加者	参加者比率	付与機関数	対象者	ポイント付与基準	ポイント上限	ポイント交換先	事業開始
岐阜県	可児市	地域振興課	101,027	1,026	1.02	101	制限なし	1回100円、2時間以上200円	10,000円	地域通貨	2014
	A	介護保険課	3,732,609	8,856	0.24	337	市内65歳以上	1回200円	8,000円	現金	2009
	B	介護保険課	891,484	1,800	0.20	120	区内65歳以上	1時間50円	6,000円	現金	2008
	C	高齢者すこやか支援課	433,436	569	0.13	154	市内65歳以上	1時間100円	5,000円	現金	2011
	D	高齢福祉課	426,648	1,699	0.40	220	市内65歳以上	1時間100円、2時間以上200円	5,000円	商品券等	2009
	E	高齢者いきがい課	381,823	1,227	0.32	66	区内60歳以上	1回100円	5,000円	地域通貨	2008
	F	高齢福祉課	140,377	219	0.16	12	市内65歳以上	1回100円	5,000円	現金	2010
	G	地域活動課	125,051	320	0.26	18	制限なし	1回17円(30回で500円)	500円	地域通貨	2010
	H	高齢福祉課	88,683	623	0.70	22	市内65歳以上	1回100円、2時間以上200円	5,000円	現金	2008
	I	高齢福祉課	64,072	183	0.29	43	市内65歳以上	30分以上50円、1日上限200円	5,000円	現金	2013

・制度に参加している人数と人口との比率は、可児市が一番多い。

・制度の対象者は、ポイント制度を介護保険の地域支援事業で実施している市町村が多いため、市内在住の65歳以上が多かった。

可児市においては、65歳以上と65歳未満に交付する報償費(Kマネー)の事業区分を分けているため、対象者制限なしで事業が実施できている。

・ポイント付与基準は、どの市町村も同程度であった。

・ポイント上限は、可児市の1万円が一番高く、5千円としている市町村が多かった。

他市町村との比較(地域通貨発行事業)

都道府県	市町村	主管部署	人口	協力店数	換金手数料	発行主体	発行規模	事業開始
岐阜県	可児市	地域振興課	101,027	424	額面の1%	市	53,389千円	2014
	J	商工振興課	148,791	565	無料	市	50,000千円	2013
	K	商工観光課	50,503	471	無料	市	80,900千円	2006
	L	商工労働課	64,072	31	無料	市	7千円	2014
	M	地域活動課	125,051	430	無料	NPO法人	8,000千円	2010

- ・可児市のように、市からの補助金、報償費を地域通貨に振り替えて交付している市町村は、全国的にもあまり例がない。
- ・可児市の協力店数は、他市町村と比較すると少ない方だったが、大きな差はなかった。
- ・お店が負担する手数料は、市が発行主体の場合は、無料のところが多かった。商工会議所が発行主体の場合は、手数料を取るところが多かった。
- ・発行規模は、K市が一番大きかったが、これは事業を10年間継続しているためと考えられる。